



—活動報告—

中東情勢講演会：「最近のイエメン情勢」

(林克好・駐イエメン特命全権大使)

3月16日(14:00-15:30)、フォーリン・プレスセンター「会見室」にて、下記のとおり中東情勢講演会を開催しました。

講師：林克好・駐イエメン特命全権大使

演題：「最近のイエメン情勢」

林大使より、サーレハ前大統領の33年間にわたる長期支配体制を支えた権力構図について説明がなされ、その構図は、2011年の「アラブの春」以降も、権力抗争のアクターの入れ替わりや世代交代はあるものの、基本的に変わっていないと指摘されました。同大使は、2014年以降、ホーシー派の勢力が増大し、9月には首都サナアを制圧した経緯を説明され、さらに2015年1月には大統領宮殿・共和国宮殿を占拠し、大統領、首相が辞任した一連の情勢の推移について、現地での体験談を含め臨場感のある状況報告をされつつ、全体の流れを長期的な視点の中で分析されました。



質疑では、ホーシー派とイランあるいは米国の関係、サウジのイエメン政策、イエメンが再び南北に分裂する可能性、米国のアル＝カーイダ対応策などの質問が出ました。

©本「かわら版」の許可なき複製、転送、引用はご遠慮ください。

ご質問・お問合せ先 公益財団法人中東調査会 TEL:03-3371-5798、FAX:03-3371-5799